

会 議 録

会議の名称	和泉市生活排水対策推進協議会【令和4年度（第1回）】
開催日時	令和4年7月6日 10時00分～10時40分
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階中集会室
出席者	委員 藤森会長、居石副会長、前田委員、安河内委員、池田委員、穴瀬委員、中野委員（以上7名 順不同） 欠席：井元委員 生活排水対策関係課（室） 職員5名（お客さまサービス課・下水道整備課・土木維持管理室・都市整備室・産業振興室）
事務局	環境保全課
会議の議題	(1) 副会長の選出 (2) 河川水質の現状について (3) 令和3年度事業実績について (4) 令和4年度事業計画について (5) その他
会議の要旨	(1) 協議副会長の選出について 副会長には、和泉市町会連合会会長の居石委員が互選により選任された。 (2) 河川水質の現状について 【事務局説明の概要】 「BODに係る環境基準達成状況」については、本年度は1調査地点において、基準値をクリア出来なかった。 (3) 令和3年度事業実績について 【事務局説明の概要】 事業計画に基づき、本市において令和3年度に実施した生活排水対策事業実績について報告 (4) 令和4年度事業計画について 【事務局説明の概要】 事業計画に基づき、本市において令和4年度に実施する生活排水対策事業計画について報告 (5) その他 なし
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）
その他の必須事項	会議の形式：公開 傍聴人：0人 議事録の公開：有

主な内容

【質疑応答】

(1) 河川水質の現状について

《委員》

○新緑田橋で評価が×がついておりますが、前年度・前々年度はたしか評価が○だったと思うのですが、令和3年度の×になった要因のようなもの、何か考えられるものがありますか。

《事務局》

○全体的な話としまして、下流域はやはり汚れが目立ちます。新緑田橋もそうですし、繁和橋もそうですし、どちらかという上流中流よりも下流のほうが汚れているというのが一般的です。12分の4では「×」になりますが、たとえば12分の3だと「○」になります。そういう微妙なラインをいったりきたりしているような状況でして、たしかに去年・おとしはクリアをしていたという現状です。また、川の水質は水量にも影響されます。これは、雨の量にもよりますが、水は少なければ少ないほど汚れが目立ってきて、BODが目立つことになり、基準を超える場合があります。その辺のところかなと分析していますが、上流よりは下流のほうが少し汚いという現状になっています。

《藤森会長》

○新緑田橋の話で、お伺いしたいのですが、たぶんこの数年ぎりぎりのところで、攻防しているんですね。ただ微減していますので、この要因はなんでしょう。その辺もう少し突き進めていけば、なんとかクリアできるのではないかなと思うのですが。

《事務局》

○おおむね横ばい、ないしは減っている、微妙に減っているという傾向だと思っ
ているのですが、都市部のほうではほぼ下水道が完備されている、浄化槽も付
いていることもあり、過去に比べると、やはり生活排水の影響は減ってきてい
るのかなという印象は受けます。ですので、その辺の効果が出ているのかなと
いうところでしょうか。

(2) 令和3年度事業実績について

《委員》

○令和3年度の事業実績の中で、No.5「ボランティアによる清掃」とのことで、
明記されておりますが、ボランティアによる清掃活動というのは、かなり水質
を良い状態で維持するためかなり効果のあることなんでしょうか。それと
も、水質の問題と環境美化、環境保全と2つあると思いますが、清掃すること
によるボランティア活動はどの程度効果があるものなのか教えていただけた
らと思います。

《事務局》

○私が思うに、2つあると思っておりまして、実際に汚いものを川から取る、そ
れで汚すのを防ぐという面が1つと、もう1つはやはり啓発的な面がありまし
て、これをやっていると、それをたとえば子供が見たらこういうことが大事な
んだなということで、横に広がっていくという大きく2つの意味があると思っ

ています。ただ有害なものがそこにあるというわけではないので、ゴミで川が汚れることはないと思いますが、今言われているビニールを入れると魚が食べてとか、海に行って海を汚すとか、そういうところにつながっていくような話もありますので、物理的にゴミを取るのと、そういう啓発的な話と非常に重要なことかなと思っております。

《藤森会長》

○私も大学で20年くらい環境のことを教えているのですが、最近市民が80%くらい川を汚しているという話もしているのですが、そこでどんどん行政も変わってきて市民をまきこんでの啓発活動が増えてきていると思うのですが、和泉市のほうはどれくらい前からこういう啓発活動、たとえば川の水を市民と一緒に測ったりとかされているのかを教えていただければと思います。

《事務局》

○そもそもこの協議会の成り立ちの根拠は、計画で、平成8年につくっており、そこからそういう啓発活動は1つ1つ行っていると聞いています。先ほど話にありました自然観察会もかなり前からやっていることでありまして、啓発活動としてはわりとやっているほうかなと認識しております。

(3) 令和4年度事業計画について

《藤森会長》

○資料3のNo.3の浄化槽の整備であるとか合併処理槽が3件予定されているのですが、環境審議会で見ていると、毎年かわらないですけど、3件くらい申請していれば少なくとも2件くらいは絶対に行っておられるんですが、どういう計画を立てられているのですか。

《下水道整備課》

○こちらの計画の基数ですが、この申請自体は基本的には地元の方からの申請があがってきて予算の範囲内で対応させていただいているものなのですが、近年の実績がNo.3, No.4それぞれ3件前後の実績であることから、4年度の計画も3基、3件と計画させてもらったものです。

《藤森会長》

○だいぶ待ってもらっている状態になっているのですか。

《下水道整備課》

○基本的には、待ってもらっているということはなかったです。

《藤森会長》

○ただ毎年3件くらいしていたら3件大体埋まっているというのが、下水道普及率もちょっとずつあがってきているのがすごいなと思います。今後ともよろしく願いいたします。